

脳科学による 技術とビジネスの革新

日本経済新聞（4月14日）の読書欄で大きく紹介されている
『脳科学がビジネスを変える』の著者による講演

概要

いま米国では脳科学への研究開発が最も注目されている。

画像処理技術の進歩により脳機能の観察が可能となり、人間の行動全般の解明が進むようになって、ものづくりの技術から高齢者の健康管理まで幅広く応用できるようになってきたからです。

その最新の知見をご紹介します。

日時

2013年 **6月6日(木)** 19:00-20:30

講師

萩原 一平 (NTT データ経営研究所マネジメントイノベーションセンター長)

申込方法

県立広島大学のホームページから「参加申込書」をダウンロードし所定事項を記入の上、電子メールに添付してお送りいただくか、FAXまたは郵便でお送りください。お持ちいただいたものも受け付けます。

ホームページURL: <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/neuroscience.html>

著書紹介



商品開発、マーケティング、組織設計、グローバル化、意思決定——。ビジネスのあらゆる場面で、脳科学の知見を活かし、ビジネスの視点から脳を知ることが成功の鍵を握る。脳科学の経営への応用を幅広く紹介する。(日本経済新聞出版 / 2013年2月発売)

講師略歴

株式会社NTT データ経営研究所 マネジメントイノベーションセンター長、エグゼクティブコンサルタント、横浜国立大学大学院環境情報学府客員教授。1955年生まれ。1978年早稲田大学工学部卒業。1985年プリンストン大学大学院電気工学・コンピューターサイエンス/MSE (修士課程) 修了。

開催場所

サテライトキャンパスひろしま



次回 (7月4日(金) 19:00~) 「生産最適化の最新技術・3次元仮想技術」を開催します。

講師: 中村昌弘 株式会社レクサー・リサーチ代表取締役 (第4回ものづくり日本大賞)